

平成30年度 愛育班員・育成者ブロック研修会を全国2ブロックで開催

秋田県・山形県ブロック研修会  
秋田県秋田市で開催 参加者数：66名

「秋田県・山形県ブロック研修会」を「秋田竿燈まつり」の初日8月3日に秋田県庁で開催。秋田県愛育組織連絡会菊池会長に歓迎の言葉を秋田県保健・疾病対策課工藤課長よりご挨拶をいただきました。その後、愛育班活動紹介や本部愛育推進部長の講義や意見交換・交流会も行いました。

秋田県 潟上市愛育会の活動紹介

S.49年旧飯田川町、S.53年天王町に愛育班が設立。H.17年の市町村合併で統合し、「潟上市愛育会」が発足。全ての地域住民を対象に、①声かけ・見守り②愛育だよりの発行・配付（毎月1回）③赤ちゃんのいる家庭へタオルハンカチの配付④班員会議、分班長会議、班長会議⑤地域のニーズに合わせた活動（介護予防学習会・ボランティア活動など）⑥市の事業への協力（子育てふれあい広場・愛育喫茶など）⑦各種学習会や研修会への参加等の活動をしています。

どの活動も皆さんが喜んでくれ、愛育班員も元気をもらいます。班員も積極的に学習し、声かけや愛育班活動をとおして、自分や家族も健康に、そして地域全体が健康になれるようこれからも活動していきます。

秋田県 八峰町愛育班の活動紹介

S.51年、旧八森町母子愛育班誕生、S.57年に3班制になり、H.18年八峰町に合併後12年目に、旧峰浜村沢目地区で愛育班が誕生。峰浜地区住民は、「孫の乳児健診に付き添いで来た時、班員の姿を見ていいな」、「八森の班員から愛育班の話聞いて、とてもいい活動」と保健師は、「峰浜地区でも愛育班ができたらいいな」と思い、保健師と住民の“思い”が一致し新たな愛育班の誕生となりました。

活動は、①保健師の赤ちゃん訪問の後、班員が担当世帯を訪問②子どもからお年寄り、地域の人たちに優しく声かけ③町の各種事業でお手伝い（乳児健診会場での読み聞かせ、離乳食教室の託児など）④前年に生まれたお子さんの「名前の由来」と「写真」を掲載した『愛育だよりの』年1回発行⑤健康づくり事業への協力等です。今後も、子育て中のママの力になれたらと思っています。

秋田県 大仙市神岡愛育会の活動紹介

S.48年、秋田県母子保健地域組織育成モデル地区指定、近隣へ健康の呼びかけ訪問開始。S.53年「上岡愛育会」として活動を続け、S.60年から、母子に加えお年寄りへ“愛の声かけ訪問”開始。健康で長生き、心豊かに過ごすための活動を展開している。愛育班は2年任期で155人が、約10名1グループで活動。個人情報厳格に守りながらグループノートに活動記録を記入、その中から生活上で困ったことや問題点の解決の道筋への努力をしています。

愛育班のアンケート調査を全世帯に実施、「活動をして良かった」が多かったのですが「仕事が忙しく困難」の意見もありました。結果をしっかりとらえ、会を繋いできた諸先輩の“思い”を受けとめていく事が務めと思っています。

山形県 米沢市三沢母子愛育班の活動紹介

現在、米沢市の人口は81,125人で、三沢地区は人口1,151人、432世帯、出生数H.28年5人です。三沢母子愛育班は、S.48年に結成、S.49年に妊婦や乳幼児の訪問を開始しましたが、次第に停滞していきました。しかし愛育会本部、地区、班員の総力で復活、H.25年には40周年記念誌「あゆみ」も発行できました。

現在の活動内容は、①あったか交流サロン②班員研修会③赤ちゃん訪問（手づくりスタイお届け）④どんぐりクラブとの交流会⑤赤ちゃんとお母さんの交流会⑥市おやこ広場での計測手伝い⑦年1回全世帯配布の愛育だよりの発行⑧地区文化祭コーナー出展⑨地区事業協力（田んぼアート、地区運動会など）等を行っています。愛育班活動が地区の方々に喜ばれていることを励みに、自分達も楽しみながら活動を続けていきたいと思っています。

屋竿燈に感動



赤ちゃんの生まれた家庭へ  
タオルハンカチのプレゼント



愛育喫茶で交流



読み聞かせ  
乳児健診会場での



愛育だよりの発行



佐藤会長が一言一言心をこめて活動を発表しました

大仙市神岡愛育会  
活動紹介

あったか交流サロンで  
軽体操・脳トレ



赤ちゃん訪問で大好評の  
手作りスタイ